

令和7年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立四箇郷小学校
提出	令和8年3月6日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	豊かな心	確かな学力	健やかな体と安全の確保
指標	学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えている」において、『思う方』の回答が75%を超える。	・図書室への総来室者数→前年度を維持 ・保護者アンケートで学校教育・生活でのルールやマナー、モラルに関する設問にて、前年度より「わからない」という回答を減らす。	県学習到達度調査の結果が県の平均を上回る。	学校評価アンケート項目「学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている」において『思う方』の回答が85%を超える。
意見	●学校だよりは、毎月ホームページで掲載されるのはよいと思う。 ●地域の方々に協力をしてもらい、全生徒が、大きな声で「おはようございます」「こんにちは」と明るく大きな声で挨拶できる子どもたちになってほしい。	●図書館教育推進は賛成。 ●道徳教育すすめてほしい。 ●毎日、全児童が、15分間の読書時間を作ってもらいたい。 ●本を読むことで、視野が広がり、いろいろなことが学ぶことができる。 ●興味のある本を個々に発見できるように図書館教育の推進を継続してください ●図書室の利用率を上げるため子どもたちアンケートをとり、どんな本に興味があるか調査する	●話し合い活動改善は賛成。 ●算数習熟は重要です。 ●子どもたちが、学年関係なく、コミュニケーションをとり、人間関係を構築してもらいたい。 ●習熟度別少人数学習は、ぜひ実施していただきたい。2年時の掛け算が、苦手の子の苦手意識を改善することで学力テストへの影響が変わるのでは。 ●抽象的な言葉を、子供や教職員が「何をすればいいか」分かるレベルまで分析する。 ●指標の解像度を上げ伝える工夫が必要だと考える。解像度が低いと評価のズレや、努力の空回りにつながる。教員により判断がばらつく。子供が何に對し取り組み、頑張ればよいか分からなくなる。	●安全確保の対策は賛成。 ●感染症・熱中症対策も必要 ●体力向上では、単なる体力向上だけではなく、失敗しても立ち直る力(レジリエンス)を育てる事が必要。 ●コロナ・インフルが流行し榮るので、手洗い・うがい等で感染予防を行う必要がある。
意見	●校長の思いや方針がよく、記載されており、効果的に実施されている。 ●地域の方々と交流をより深くするために、年に3・4回程度、子どもと接する機会を作ってはどうか。	●図書館教育は大切です。 ●今後とも豊かな体験を通じて道徳教育願います。 ●職業体験の場を設け、社会に興味を持ってもらう。	●研究発表や一人一授業実施ご苦労様です。 ●少人数学習継続は、ぜひ継続願います。	●暑さ対策として、リュック登校・ミストシャワーは適切である。避難訓練・安全点検も適切です。
意見	●アンケートで「わかりやすい」が前年とほぼ同じ、80%以上目指してください。 ●ホームページ更新はご苦労様でした。	●保護者アンケート 70%以上頑張ってください。 ●加太合宿、森林教室実施は良かった。 ●図書室にすすんで、全児童が入室するよう期待したい。 ●5年・3年の校外学習の機会の差を感じます。	●特別研修会2学年発表し、授業力向上は良かった。 ●新入教員の成長は重要である。 ●結果が出ないのはなぜか、というのは教員たちで話し合うのですか？まともな体験があれば知りたいです。 ●点数の一喜一憂で終わらせず、どこに「つまずき」があるかを特定し分析結果を即時「明日の授業」に反映させる工夫が必要かと思う。	●学校アンケートで、取り組みについて「思う」が76.2%は良かった。 ●安全確保・感染症対策・熱中症対策は良かった。
意見	●教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えるためには、学校の積極的公開や資料の友好的配布と保護者と学校関係者の交流が重要で、積極的に公開継続願います。 ●グレルメールに代わるものが欲しい。 ●地域の子供の見守り隊の高齢化が進んでいるので若い方が参加しやすい仕組みを考え進めてほしい。 ●デジタル端末を活用したリアルタイムな活動共有 ●家庭、地域との「学びの共通理解」 ●地域ぐるみで避難訓練を行う。 ●シカゴキャンドルに参加してくれると嬉しい。	●新しいアイデア取入れは重要である。和歌山市立図書館は、民間の蔵屋に維持管理を移管。→非常に生きやすい図書館となっているので、参考にしてほしい。 ●低学年の児童へ読み聞かせや本の紹介をして、本に興味を持ってもらう。 ●学校の教育だけでは、モラルをはぐむのは難しいと思います。保護者さんも含め道徳の講習を開いてみていいのではないかと？ ●自らを学ぶの可視化とし、「テストの点数」ではなく、「自らの問いを立てた回数」又「図書室、タブレットでの自発的な調査時間」など 子どもたちの行動ベースを知る事が必要である。 ●学校内だけで完結しない外部連携を強化し、多様な価値観に触れ、対話をする機会を増やしていただきたい。	●教員の学びあう機会の定例化で指導力の向上は、重要である。デジタル化への対応も不可欠である。 ●教科書を使用してだけでなく、ディキャンプなどで体験しながら学ぶ。 ●クラス内で選挙や投資など、今の情勢を踏まえて、体験できるような環境を整え、早くから社会に目を向けられるようにする。 ●学力向上を目指すには、子どもたちが安心して、授業を受けることができる環境整備も必要なのではないかと思えます。 ●ICT活用における情報モラルなど「現代的なたくましさ」を加える。 ●教員の役割として「知識を教える」から「学びを教える」への意識を高め進める。 ●指導力向上には、「授業の型」から「子供の学び」への視点変更をより深める「省察(リフレクション)」の質の向上を目指して頂きたい ●分析し合う力が必要であり、又「越境学習」を取り入れることで、多角的指導が身につくと考える。 ●書く活動の日常化や、誤答分析に基づいた「ピンポイント補習」などもよいかと考える	●登校班での登校は、安全のため継続すべきだと思いますが、課題は多いと思います。状況把握に努めてください。登校班を見て感じることは、班長が役割と責任の理解不足、他の子供は何のために登校班があるのかを理解不十分な点があるのではないかと思います。 ●目標に対する指標が漠然としている感がある。アンケート+具体的な施策の結果が欲しい。 ●情報交換する場を形式的ではなくフラットに設ける

3 その他の課題

●新在家交差点の森下石油倉庫が撤去され、見通しが良くなった。しかし、青信号ギリギリで、横断歩道を渡らず交差点を横切る児童が少数いる。また、月1回の校門前の挨拶運動や毎日の子供を見守る会の人から、挨拶に對応しない児童が多いとの苦情も聞く。挨拶は、家庭によるところも大きいですが、学校での教育も継続願いたい。●評価書の指標が何年か変わっていないですが、ほかに何も無いからでしょうか。